国立国語研究所学術情報リポジトリ

北海道方言に見られる経年変化：道内4都市における調査結果から

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-06-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 朝日, 祥之 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00003350

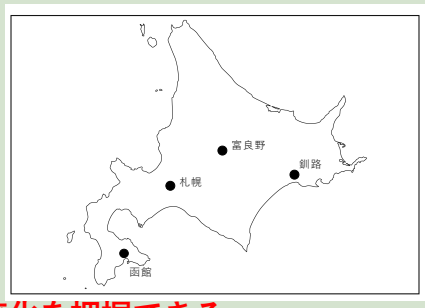
北海道方言に見られる経年変化
ー道内4都市における調査結果からー

朝日祥之（言語変異研究領域）

国立国語研究所による北海道各地での経年調査と新規調査

【第一次調査】
国立国語研究所では北海道における共通語化調査を実施
　第1回調査　1959年（富良野調査）
　第2回調査　1986年、1987年（札幌調査・富良野調査）
この他に、北海道方言研究会による調査も釧路市で実施
　第1回調査　1989年（釧路調査）





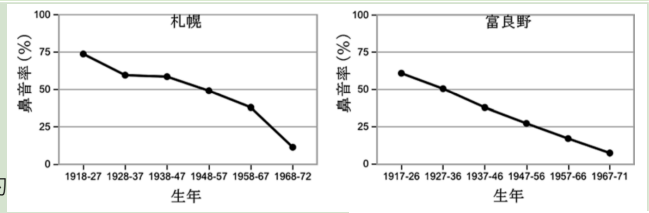
【第二次調査】
1980年代以降の北海道における共通語化の様子を把握するための経年調査を実施
　札幌市、富良野市、釧路市における経年調査（各地点約200人を対象）
これまで調査ができていなかった道南地域における調査を新規調査として実施
　函館市（約200人を対象）調査時期：2011年から2015年

北海道内の主要都市における共通語化の経年変化を把握できる

スタイル変異の経年変化を把握する試み

【北海道方言の特色】
全国各地からの移住により、**共通語化が早い段階で進む**
北海道への移住は１９世紀末から本格化＝２１世紀の調査
　⇨ **「共通語化済んだら何が起こるのか」**

【スタイル変異研究】
調査場面＝「親しい友人と話す場面」であることが多い
カジュアルな場面での言語（方言）使用を把握することが目的
それが**言語生活のどの部分を調査しているかはわからない。**



南部・朝日・相澤（2014）

⇨ **異なる場面（フォーマルな場面）を設定し、カジュアルな場面との比較を行う**
「ふだんの場面」と「テレビでインタビューを受けている場面」との比較

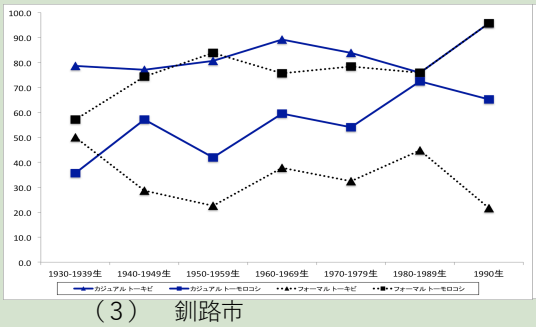
スタイル変異の経年変化の事例：「とうもろこし」を場合

【第二次調査での問】
（1）この野菜はふだん何と言っていますか。次の言い方のうち、自分で言うことがあるものをすべて選んでください。
（2）同じ物ですが、もしテレビ番組の取材で、外国人のレポーターから、この野菜は何ですかと聞かれて答えるとします。
　次の言い方のうち、自分で言うことがあるものをすべて選んでください。
　1（ア）とうもろこし　2（イ）とうきび　3（ウ）とうきみ
　4（エ）きび　5（オ）きみ　6　どれも言わない

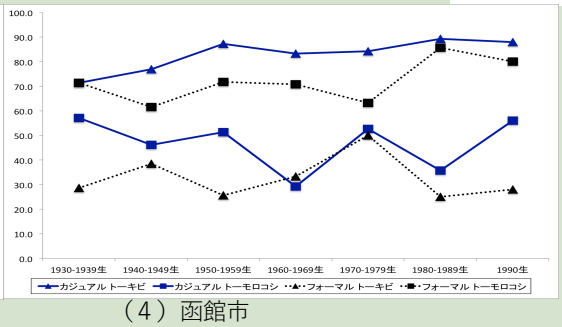


【調査結果】

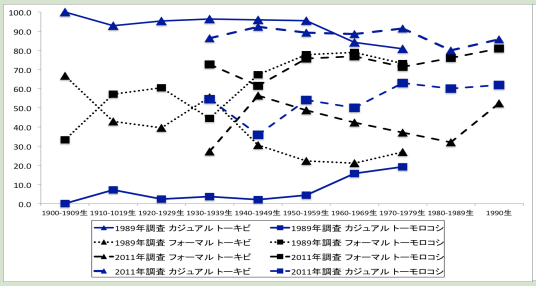
（1）　札幌市



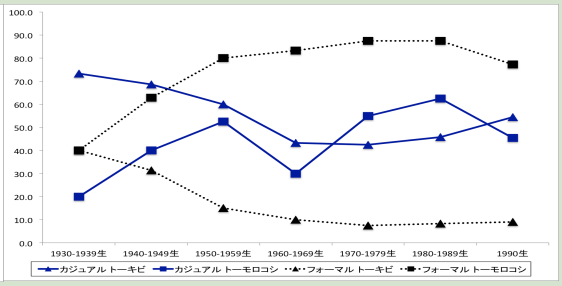
（2）富良野市



（3）　釧路市



（4）函館市



朝日・尾崎（2015）

【参考文献】
朝日祥之・尾崎喜光（2015）「北海道における方言使用の現状と実時間変化 その４」『北海道方言研究会第214回例会』
南部智史・朝日祥之・相澤正夫（2014）「ガ行鼻音の衰退過程とその要因について：札幌と富良野の言語調査データを利用して」
　『国立国語研究所論集』７号